



特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

**第 17 回 通常総会**

日 時：平成 29 年 6 月 17 日（土）13：30～16：30

会 場：中野サンプラザ 7 階研修室 11  
(東京都中野区中野 4-1-1)

# 通常総会次第

1.	理事長講演	
2.	議長選任の件（含：定足数確認）	
3.	議事録署名人選任の件	
4.	審議事項	
(1)	平成 28 年度事業報告書（案）の件 （参考：平成 28 年度事業の報告）	・ · · · · 1
(2)	平成 28 年度活動計算書（案）の件 （事業並びに収支および個人情報保護についての監査報告）	・ · · · · 28
(3)	東京都・法務局等への提出・申請書類の字句修正付託の件	
5.	報告事項	
(1)	平成 29 年度事業計画書の件	・ · · · · · · 35
(2)	平成 29 年度収支予算書の件	・ · · · · · · 39
(3)	新任理事紹介の件	
6.	意見交換会	

以上

# 平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

## 1 事業の成果

本年は、2年に1度の全国集会が沖縄県那覇市で開催され、全国各地から160人が参加した。琉球大学高良倉吉名誉教授の「琉球の歴史とアジア」と題しての講演、金城浩二氏の「サンゴの島が教えてくれたこと」の講演を通して、日本の歴史への再認識、自然環境への一途な取り組みに感動し、本運動への情熱を呼び起した。また、「ラオスに井戸を贈る運動」の実施報告が行われ、これからの一層の支援が確認された。

4回目の開催となった『全国都道府県会議』には28都道府県から45人が参加し、東京ボランティア市民活動センター講師による「ネットワークは豊かなまちを創る」と題した講演を聞き、「これからの明社運動・3つの方針」の研鑽ができた。その後、実践的に各グループでワークショップを行い学びを深めた。

本運動の推進を図ることを目的とした『明社ミーティング』は、4会場（北陸、宮城、北海道、九州）で行われ、総勢300人が参加、特に九州は全県が集まるのは12年ぶりで、今後の熊本への支援も含めた話し合いが2日間に渡って行われた。

地域活性化への支援を目的とした地域協働事業では、旭川明社と協働して、子ども音楽会とファミリーコンサートを実施、青少年明社育成への足掛かりとした。

東日本大震災被災者支援活動は、昨年同様協力要請のあった仮設住宅・復興住宅のコミュニティづくり等の事業を協働したほか、被災地住民の要請のもと南三陸町ホタル再生プロジェクトを立ち上げ、初年度事業として餌のカワニナを放流した。また新たに熊本地震への支援として、全国から集まった寄付金で4か所の社会福祉協議会に児童書386冊を贈呈。この児童書は、各社会福祉協議会が管理している仮設住宅の集会所へ配布され喜ばれた。

社会貢献活動を志す人財育成を目的とした『明社志民カレッジ』は、「住民主体のまちづくり」「住民と行政の協働型まちづくり」「原発と福島の現状とこれから」のテーマで実施し、総勢14人が参加し、行政との連携・協働の大しさを学んだ。

このほか、要請のあった都道府県・地区明社の35か所に講師を派遣し、各種相談や研修を行い、明社運動の理念や「これからの明社運動・3つの方針」の理解がなされた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人	事業費の金額(千円)
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するための情報の収集と提供	ネットワーク推進事業1 「全国都道府県会議」 本運動の方向性や事業のあり方を共有し、より一層の繋がりを図るために、全国各地で活動する方々と意見・情報の交換を行った。	平成28年11月5日～11月6日	東京都千代田区全国町村会館	28人	会員45人	2,630
	ネットワーク推進事業2 「明社ミーティング」 時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報・意見交換を通して運動の推進を図る事を目的に行つた。	平成28年5月21日～22日 平成28年9月11日	いこいの村磯波風 パレス松洲	12人	会員300人	1,785

	<b>ネットワーク推進事業3 「講師派遣と相談サービス」</b> 各都道府県および各地区明社からの要請を受け、総会や研修会等に役員を講師として派遣した。また、運営や活動等の相談にも応じた。	平成28年4月11日～29年3月26日	愛媛県宇和島市他34か所	35人	会員一般市民 1,470人	1,612
	<b>ネットワーク推進事業4 「諸団体との連携」</b> ①日本国際ボランティアセンターからの要請で、未使用ハガキ回収による「ラオスに井戸を贈る運動」に着手、23,525枚が集まった。 ②アフリカへ毛布をおくる運動の後援団体として、推進委員会に出席した。	随 時	法人事務所 都内各所	1人 1人	会員一般市民 不特定多数	64
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するための情報の収集と提供	<b>広報事業1「機関誌」</b> 機関誌『はーとふる』を発行し、全国各地で展開される本運動の広報に努めた。	年4回 4月・7月 10月・1月	法人事務所	4人	会員 寄付者 一般市民 35,500人	3,696
	<b>広報事業2「WEB」</b> 事業報告や事業予告記事をホームページに掲載、同時にメールマガジンを発行して告知を行った。また、Facebook ページを活用して記事掲載を告知することで、新たな読者層の開拓に努めた。	随 時	法人事務所	4人	会員一般市民 不特定多数	660
	<b>広報事業3「広報ツール」</b> 「明社パンフレット」およびロゴマークのピンバッジの頒布を行った。	随 時	法人事務所	4人	会員一般市民 1,300人	274
明るい社会づくり運動に関する調査・研究の推進	<b>調査・研究事業</b> ①明社志民力レッジ 明社理念に賛同し社会貢献を志す人を対象に、市民活動の手法を学ぶフィールドワークを行った。	平成28年9月3日～4日 平成28年10月21日～23日 平成28年11月12日～13日	長野県長野市 新潟県長岡市 福島県いわき市	9人	会員 14人	1,133
	②セミナー等への参加 他団体主催のセミナー事業等に参加し、他団体との協働のあり方などを学んだ。	平成28年9月6日～12月1日	新潟県山古志村他2か所	7人	会員一般市民 不特定多数	81

	<b>③地区明社の情報収集</b> 事務所内の情報コーナーで、収集した広報誌・記念誌等の発行物を閲覧できるようにした。	随 時	法人事務所	4人	会員 一般市民 不特定多数	0
	<b>④書籍の購入</b> 情報収集のため書籍を購入した他、刊行物の定期購読を行った。	2回	法人事務所	4人	事務局 役員等	5
	<b>地域協働事業</b> <b>①歳末助け合い募金</b> 大阪府地区明社連絡会傘下の25地区と協働して、歳末助け合い募金を行った。	平成28年12月3日～28日	大阪府内主要駅前等68か所	延べ1,300人	一般市民 不特定多数	41
明るい社会をつくるために活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	<b>②青少年育成活動</b> 小さな子供たちが気軽に楽しめる演奏会として、「第1回子ども音楽会inびえい」を開催。また、子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる演奏会として「第4回ファミリーコンサート」を行った。	平成29年1月12日	北海道美瑛町	22人	一般市民 1,345人	545
	<b>明社レンジャー事業</b> 地区明社や協力団体から要請を受け、「耀！連隊」を出動させ、市民との交流活動を行い、本運動のPRを行った。	平成28年の5月7日～平成28年11月20日	東京都調布市他5か所	3人	会員 一般市民 不特定多数	155
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するためのセミナー・シンポジウム・講演会・大会の開催	<b>集会事業1「全国集会」</b> 本運動の推進者が一堂に会し、提唱の理念を確認すると共に、情報交換・草の根運動に関する研修を行った。	平成28年7月2日～3日	沖縄県那覇市	42人	会員 一般市民 160人	3,351
明るい社会をつくるために活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	<b>災害支援事業1「ボランティア活動」</b> 仮設住宅ならびに復興住宅でのコミュニティーづくりの支援を中心に、仮設住宅の子どもたちへの支援などを行った。 また、燈籠流しの支援を行った。	平成28年7月28日～平成29年2月26日	宮城県石巻市他8か所	121人	一般市民 1,167人	2,369

<p><b>災害支援事業2</b> <b>「植樹活動」</b> 全国から寄せられた寄付金 で、支援要請のあった被災 地での花植え等を行った</p>		宮城県石巻市内 3か所	39人	一般市民 不特定多数	341
---	--	----------------	-----	---------------	-----

## 平成 28 年度の事業報告（参考 - 詳細報告）

### 事業の実施に関する事項

#### 1. ネットワーク推進事業「全国都道府県会議」

明社運動の方向性や事業のあり方を共有し、全国都道府県の方々と意見・情報交換を行い、より一層の繋がりを図ることを目的に開催した。

日 時：平成 28 年 11 月 5 日(土)～11 月 6 日(日)

会 場：全国町村会館(東京都千代田区永田町 1-11-35)

内 容：初めに全国都道府県会議の意義と目的が砂川理事長より説明され、「これから明るい社会づくり運動・3 つの方針」を基に、「ネットワークは豊かなまちを創る」と題して東京ボランティア市民活動センター・アドバイザーの安藤雄太氏より基調講演があり、その後、「活動の目的」をテーマにグループワークを行った。

2 日目は、那覇協働大使の上原仙子氏より「協働のまちづくり」の講演後、ネットワークづくりの事例として、焼津明社副会長服部泰子氏より「ティッシュ BOX の活用」・もえる鳥山副理事長の田中省一氏より「鳥山まちづくりネットワーク」の発表がなされた。



参加数：1 都 1 道 2 府 24 県 45 人 総参加数 73 人

## (2) 明社ミーティング

時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報交換並びに意見交換を通して、運動の推進を図ることを目的に、4会場で実施された。

### □北陸3県地区明社ミーティング(福井・石川・富山)

(1)実施日：平成28年5月21日(土)～22日(日)

(2)会場：富山市婦中町・いこいの村磯波風(いそっぷ)

(3)テーマ：「私たちが考える善意の場とは」

(4)参加数：60人

(5)内 容：1日目

来賓のご挨拶をいただいた後、『100万人のゴミ拾い』の提唱者・荒川祐二さんと一緒にゴミ拾いした際のDVDを鑑賞した。

続いて富山県立南砺平高校の郷土芸能部員33名が五箇山民謡を披露、楽器の紹介の後には「こきりこ」「さらさ」を体験する時間も設けられ、会場は大いに盛り上がった。



その後、「これから明社運動・3つの方針」に沿ったグループディスカッションが行われ、グループごとに模造紙に書き込んだそれぞれの方針の発表が行われた。



翌日は、砂川敏文理事長より「これから明社運動」と題しての講演が行われ

その後、富山明社が行っている東日本大震災の支援活動が紹介された。

前日に引き続き行われた2回目のグループディスカッションでは、

これから明社運動の取り組みが討議され、

「3つの方針」に沿っての発表があった。

最後に能木場由紀子石川県明社理事長による総合コメント・感想が述べられ、

全日程を終了した。



## □みやぎ明社ミーティング(仙台・石巻)

- (1)実施日：平成 28 年 9 月 11 日(日)
- (2)会 場：宮城県松島町「パレス松洲」
- (3)参加数：149 人
- (4)内 容：宮城県明社・久水輝夫会長の挨拶で始まり、研修 1 では全国明社・原事務局長が、「これからの中の明るい社会づくり運動」と題して今後の明社運動のあり方について、また、研修 2 では全国明社・沼田常務が「協力団体としての取り組みについて」の内容でそれぞれ講義を行った。



研修後の質疑応答は、時間が足りなくなる程の活発な質疑が交わされ仙台明社・近藤正則相談役のご挨拶後、石巻明社・本川郁子副会長の閉会の辞をもって終了した。



## □北海道ミーティング

(1) 実施日：平成 28 年 10 月 8 日(土)～9 日(日)

(2) 会 場：北海道青少年会館(札幌)

(3) 参加数：38 人

(4) 内 容：始めに北海道連絡協議会・

木村啓介会長の挨拶があり、

全国明社・砂川理事長が「笑顔あふれるまちづくり」と題して、笑顔が及ぼす人間関係について講話した。



続いて、道内 8 地区からの活動報告がなされた。



翌日は、全国明社・原事務局長より「明社運動の方向性」の研修を基に、それぞれグループ討議を行い、討議内容の発表が行われた。



## □九州ミーティング

- (1)実施日：平成 29 年 2 月 25(土)～26 日(日)
- (2)会 場：熊本市植木温泉 荒木観光ホテル
- (3)参加数：53 人（九州 8 県 22 地区明社）
- (4)内 容：1 日目は、8 つに分かれてグループ長の進行で自己紹介ならびに日頃の活動等の紹介を行った後、全国明社・砂川理事長より、行政に携わってきた経験からの市民との関り方などの事例をあげて、「これからの中社運動・3 つの方針」が説明された。



その後、グループごとに「3 つの方針と現状について」のテーマで熱心にグループ討議を行い、初日の研修を終了した。



2 日目は、熊本県明社の清田春雄会長から熊本地震災害へのお礼と、地震発生から現在に至るまでの被災体験や周囲の方々の様子などの報告があり、今後も継続して支援をお願いしたいとの言葉で結ばれた。これを受け、参加者全員で九州全地区明社が一丸となって支援に取り組むことを確認した。その後、全国明社・沼田常務より「明社運動と協力団体との関係について」の講演が行われた。



### (3) 講師派遣と相談サービス

総会での講演や研修会講師および相談等、要請のあった県明社・地区明社 35 か所に対し、全国明社役員・事務局員等、延べ 35 人を講師・アドバイザーとして派遣した。  
場所・内容は以下のとおり。

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学習会講師	新宿	秋田 長野 岡崎		倉敷 千葉県	長野	名古屋 宮崎		鳥取	倉敷 京都	下関 沖縄	下関 大館	水戸 福岡県南 山口	19
講演	富里 峡東	静岡県 愛媛 大阪	香川・群馬 西兵庫・京都 新ほくそう					埼玉東部					11
相談	富士 岡山 宇和島				萩		萩						5

### (4) 諸団体との連携

#### ①ラオスに井戸を贈る運動

JVC（日本国際ボランティアセンター）からの協力要請を受け、未使用ハガキによる『ラオスに井戸を贈る運動』を継続、機関誌・ホームページ・Facebook 等を通じて会員に呼びかけた。

平成 28 年度は、23,525 枚のハガキが集まり、JVC に送った。

ご協力、有難うございます  
未使用ハガキで国際協力  
**ラオスに井戸を贈る運動**

ご報告 第1弾  
4村に深井戸1基ずつ設置しました

特定非営利活動法人明るい社会づくり運動(全国明社・都川町(文理事業))は、日本国際ボランティアセンター(JVC)からの協力要請を受け、昨夏より「ラオスに井戸を贈る運動」に着手してきました。平成27年度の井戸設置事業として、ナトーラ村とポンボン村に深井戸(小)を、ポンボン村とドンサン村に深井戸(大)を、それぞれ1基ずつ設置しました。お寄せのハガキは平成28年度の井戸設置に使用されます。全国明社に寄せられた未使用ハガキの多くは、各地の地区明社並びに協力団体を中心ですが、全国明社のホームページや地区明社が呼びかけたチラシを見て送ってくださった方も多い、ハガキとともに、この開拓支援活動の意義と長期的な活動を認めて手紙もいただきました。全国明社は今後もJVCと協力して「ラオスに井戸を贈る運動」に取り組みます。未使用ハガキは随時受け付けていますので、全国明社にお許せください。

日本国際ボランティアセンター(西山 明るい社会づくり運動から寄贈)

日本国際ボランティアセンター(西山 明るい社会づくり運動から寄贈)

#### ②アフリカへ毛布をおくる運動の推進

平成 28 年度は、アフリカへ毛布をおくる運動の後援団体として、推進委員会に参加した。

### アフリカへ毛布をおくる運動

皆さまのご協力により、これまでアフリカ27ヶ国以上、411万人以上の方々に毛布をお届けすることができました。また、昨年は24,688枚、海外輸送協力金24,052,370円のご支援をいただきました。誠にありがとうございます。

#### ①毛布+海外輸送協力金

あなたの毛布が日本を出発して現地の人々の手に届けられるまでに、一枚あたり 1,000 円かかります。あなたの毛布を現地へ届けるために、海外輸送協力金にもぜひご協力ください。



#### ②海外輸送協力金のみ

毛布を現地へ届けるために、海外輸送協力金のみも受け付けております。

#### 毛布送付先

〒231-0811 横浜市中区本牧埠頭3番地8号棟

本牧埠頭B貨物センター

「日通 本牧毛布係宛て」

TEL : 045-622-1516

※日本通運急便までの料金は、各自ご負担下さい。土・日・祝日はお休みです。

海外輸送協力金のご協力方法

①付箋の払込取扱票にてお払込ください。

②金融機関からのお振込 下記口座まで、お振込ください。

ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキュウ店)

当座 0351756 アフリカへモウツワクル(アンドウジム)キウ

郵便局ですか、手数料はご負担ください。

#### アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会

(構成団体) 特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構

特定非営利活動法人 J-HP・学校をつくる会

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター(JVC)

立正佼成会

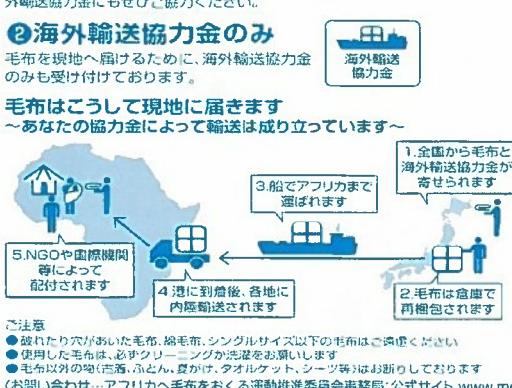
(後援団体) 外務省

特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会

国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(協力団体) 日本通運株式会社



## 2. 広報事業

### (1) 機関誌『はーとふる』の発行

機関誌『はーとふる』を発行し、全国各地で展開される本運動の広報に努めた。

昨年に引き続き「これから明るい社会づくり運動・3つの方針」に基づいた活動を行っている事例と、被災地レポート「わすれない、いつまでも」「未来を創造する子どもたち」のタイトルで子どもたちを支援する市民団体を連載した。

「明社人みんなでゴミ拾い2016」の前期実施状況(21都道府県・41団体・総数2,855人)を、「2016秋号」に掲載した。



各号の配布内容は以下のとおり。

	春号(4月)9,000	夏号(7月) 9,000	秋号(10月)8,500	冬号(1月)9,000	合計
新規・更新	949	961	964	969	3,843
贈呈①	69	69	69	51	258
贈呈②ボラセン・NPOセンター	115	115	115	114	459
贈呈③寄稿者・取材団体	900	800	700	400	2,800
贈呈④都道府県明社	4,171	4,171	4,171	4,171	16,684
団体賛助県・地区	1,450	1,450	1,450	1,450	5,800
購読希望地区(寄付金)	670	1,205	685	1,619	4,179
未団体賛助地区(寄付金)	80	80	80	80	320
	8,404	8,851	8,234	8,854	34,343

### (2) WEB等のIT活用

各地区明社実施の事業報告並びに全国明社実施の事業報告に関し、ホームページに記事を掲載すると同時にメールマガジンを発行して掲載の告知を行った。またFacebookページにおいても記事を紹介、一記事平均150人の訪問者があった。

メールマガジン発行部数121部、Facebookページへ“いいね”203人、フォロワー163人。

掲載記事とメールマガジン発行回数は以下の通り。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全国明社情報	1	1	1	1	1	3	1	0	0	0	1	2	12
他団体情報	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
地区明社情報	1	12	5	4	4	2	2	4	1	2	3	3	43
メールマガジン	2	5	3	3	2	3	2	1	1	2	2	3	29
facebook	2	14	6	11	6	6	3	7	1	2	4	6	68
(訪問者数)	271	1,944	750	1,290	638	590	304	486	161	316	615	649	8,014

### (3) 広報ツールの開発

①提唱 50周年にむけての活動映像収集のために、以下の内容を行った。

- ・50周年用資料として、全国集会報告集を作成した。
- ・別事業で地区明社を訪問した際に、並行して取材を行った。

②「明社パンフレット」の注文を受け、適宜発送した。

## 3. 調査・研究事業

### (1) 明社志民力レッジ

明社運動の理念に賛同し、社会貢献を志す方を対象に、各地の先見的な活動を訪ね実践している方たちの熱い思いにふれるフィールドワークを行い、時代から求められる新しい地域づくり・市民活動の担い手としての次代リーダーを育成することを目的に実施した。

参加に当たって、全回参加を基本としたが、受講生のニーズに応え、各回の選択参加も可とした。

第1回 実施日：平成28年9月3日(土)～4日(日)

会場：長野県松代町

テーマ：住民主体のまちづくり

参加者：受講生5人 理事・監事2人 事務局3人

内容：今回の研修は、平成12年長野市が立案した「松代地区中心市街地活性化基本計画」による、町全体博物館にする「信州松代まるごと博物館構想」を受け、平成13年6月に任意団体として住民有志100名で発足後、翌年6月にNPO法人の認証を受けて以来、信州松代の歴史・文化・自然・人物など地域に潜在する資源を掘り起こし、光を当てて磨きあげ全国に発信して、住んで住みやすく訪れて心癒えるまちを目指して、住民によるまちづくりに取り組んでいる「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動手法を学ぶもので、事務局長の三田さん他スタッフの案内で松代の街並みを歩きながら、活動の状況を確認した。

- 観 察…旧樋口家住宅⇒文武学校⇒白井家の門(長野市文化財ボラのお接待)  
⇒象山神社⇒山寺常山邸⇒象山地下壕⇒横田家住宅⇒松代支所  
⇒坂口酒店(まちの縁側)⇒大英寺⇒寺町商家(市指定文化財)  
⇒八田家(真田家御用商人) ⇒まち歩きセンター(夢空間事務所)
- 「松代のまちと心を育てる会」の事業 (NPO 法人夢空間 理事長 香山篤美)



第2回 実施日：平成 28 年 10 月 21 日(金)～23 日(日)

会 場：新潟県長岡市

テマ：「地元学 住民と行政の協働型まちづくり」

参加者：受講生 5 人 事務局 3 人

内 容：2004 年に起きた「新潟県中越地震」で大きな被害を受け、震災により顕在化した中山間地域が抱える課題、市町村合併によって問われた地域自治のあり方等、これらの課題にどのように取り組んできたかを、「中越メモリアル回廊」を見学し、地域の語り部さん達から学んだ。

- 長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」  
で震災の概要の説明を受ける。



- 語り部・青木勝さんより震災当時の状況と村の復興に向けて、住民と行政との取り組みの説明を聞く。



- 「川口きずな館」での取組みの説明

翌日は、地震発生日 10月 23 日で震災 12 年のイベントの準備が行われていた。

第3回 実施日：平成 28 年 11 月 12 日(土)～13 日(日)

会 場：福島県いわき市

テー マ：「原発と福島の現状とこれから」

参 加 者：受講生 4 人 理事 1 人 事務局 3 人

内 容：東日本大震災から 5 年半が経過し、復興を遂げつつある地域がある一方で、原発事故の放射性物質の流出により、未だ人が立ち入ることができない被災地を視察し、放射線の基礎、原子力発電の仕組み、事故の状況、除染の効果などの説明と廃炉への取り組みについて研究所を見学し、研究者から直接に技術的な説明を受けた。



第 1 原発事故からの避難の映像



いわき放射線量低減アドバイザー・星萬雄氏より  
福島原発所の全体説明と事故後の第 1 原発の現状  
の説明。



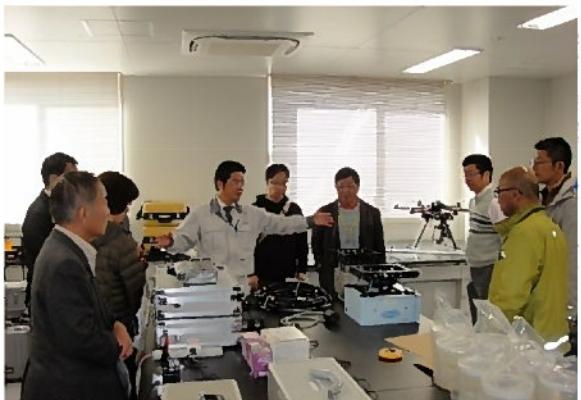
・福島県環境創造センター三春町研究棟見学



・原発と福島の現状についての研修



福島県環境放射線センター  
(南相馬)見学



## (2) 地区明社の情報収集

地区発行の広報誌・記念誌等の発行物を保管し、いつでも閲覧できるようにした。

## (3) 諸団体の事業等への参加

- ①庭野平和財団 GNH/新潟山古志村 2人
- ②学術研究所「善知識研究会」1人
- ③庭野平和財団公開シンポジウム 4人

## (4) 書籍等による情報収集

- ・書籍の購入 2件

#### 4. 地域協働事業

##### (1) 明るい社会づくり運動大阪府地区明社連絡会『歳末助け合い募金』

この募金は大阪府内の 24 地区が、毎年 12 月中の土曜日・日曜日を中心に、主要駅前やショッピングセンター前など 68 か所で、延べ 1,300 人が参加して行っているもので、集まった善意の募金は、それぞれの地域の社会福祉協議会・福祉施設などに寄託されるほか、一部は大阪府地区明社連絡会でとりまとめ、宮城県の「東日本大震災子ども育英募金」へも寄託されている。



写真は 12 月 23 日(金)に実施された、OSAKAひまわり西南ネット（平賀博希会長）の募金活動の様子



12 月 17 日(土)、なにわネットワーク（和田充弘会長）の皆さんのが京阪京橋駅前



12 月 25 日(日)、OSAKA城南あおぞらねっとわーく（齊藤信次事務局長）近鉄今里駅前での募金の様子。

## (2) 青少年育成活動

### ①「第1回こども音楽会 in びえい」

明るい社会づくり運動旭川地区推進協議会（仁木英雄会長）は、平成29年1月28日（土）美瑛町民センター美丘ホールにおいて、こども音楽会 in びえい実行委員会と全国明社との共催で、『第1回こども音楽会 in びえい』を開催した。



この音楽会は「小さな子供たちも気軽に楽しめる演奏会を、地元美瑛町でも出来ないものか」と考えた実行委員長の中山洋明さんの呼びかけに旭川明社が全面協力、美瑛町教育委員会の後援を得て行われたもので、青葉幼稚園児・青葉太鼓の子どもたち、美瑛小学校・スクールバンド、美瑛中学校・吹奏楽部の演奏に、美瑛ハッピーフラがフラダンスを披露、演奏会に華を添えた。



子どもたちが伸び伸びと練習の成果を発揮できる演奏の機会となり、また家にこもりがちな冬の時期の心温まるイベントにしたいと願って開催した音楽会は、演奏する子どもたちも来場者も、ともに笑顔のあふれる1日となつた。



## ②「第4回 ファミリーコンサート」

北海道の明るい社会づくり運動旭川地区推進協議会（仁木英雄会長）は、2月19日（日）14時から旭川市公会堂で、『第4回明るい社会づくり運動ファミリーコンサート』を開催。演奏した旭川交響吹奏楽団は、昭和47年旭川市の高校生を中心創団され、昭和51年には全日本吹奏楽コンクール金賞、旭川市文化奨励賞を受賞。毎年秋には、定期演奏会を旭川市民文化会館にて開催するほか、旭川吹奏楽祭・旭川市民バンドフェスティバルへの参加や、市内学校・施設・地域文化祭などでの演奏活動を行っている。



子どもからお年寄りまで、幅広い年代層が楽しめることを目標に掲げ、小さな子どものいる方も気兼ねなく演奏を楽しんでもらえるようにと、今年も託児所を用意してスタッフが待機、お母さん方は「安心して演奏を聞くことができました」と喜んでいた。



2部構成で、それぞれメドレーを含む5曲ずつが演奏されたこの日のコンサート。  
肩の凝らない曲目の演奏に、会場は一体となって楽しい時間を過ごした。

## 5. 明社レンジャー事業

地区明社や協力団体からの要請を受け、「耀！連隊 明社レンジャー」を出動させ、市民との交流活動を行い、本運動のPRを行った。出動状況は以下のとおり

- ・5月7日（土）J2 東京ベルディ主催「グリーンヒーロー大集合」（東京都府中市）
- ・5月29日（日）救世真教「立教50周年記念イベント」でヒーローショー（群馬県高崎市）
- ・10月2日（日）立正佼成会「お会式一乗まつり」で広報・交流活動（東京都杉並区）
- ・11月20日（日）佐賀明社主催「第5回いのちの日フェスティバル」でヒーローショー  
(佐賀県佐賀市)



以下のとおり地区明社や他団体に衣装を貸出した。

- ・4月29日（金）高崎明社模擬店PR「第28回たかさきスプリングフェスティバル」
- ・10月9日（日）立正佼成会三鷹教会「会員交流懇親会」

## 6. 集会事業「全国集会 in 沖縄」

7月2日（土）、3日（日）の二日間で沖縄県那覇市のパシフィックホテルを会場に『2016全国集会 in 沖縄』を開催した。全国各地から集まった参加者は160名。

明るい社会づくり運動の発展を呼びかけた砂川敏文理事長が2日、那覇市西・パシフィックホテル沖縄法人アクアプラネットの金城浩二理事長がサンゴ再生について講演した。

第24210号

沖縄 OKINA タイムス

2016年7月4日月曜日  
(平成28年) 【旧6月1日・赤口】

発行所 那覇市久茂地2丁目2番2号  
(郵便番号900-8678) 沖縄タイムス社  
私信箱 那覇中央郵便局293号室沖縄タイムス社 2016年  
代表電話 (098) 860-3000

初日は会場で、地元の“花わらべ”と“島うた少女テン”が唄と踊りで出迎えた。



砂川理事長の主催者挨拶、翁長雄志沖縄県知事のメッセージ（代読）の後、琉球大学高良倉吉名誉教授による「琉球の歴史とアジア」と題した基調講演が行われた。

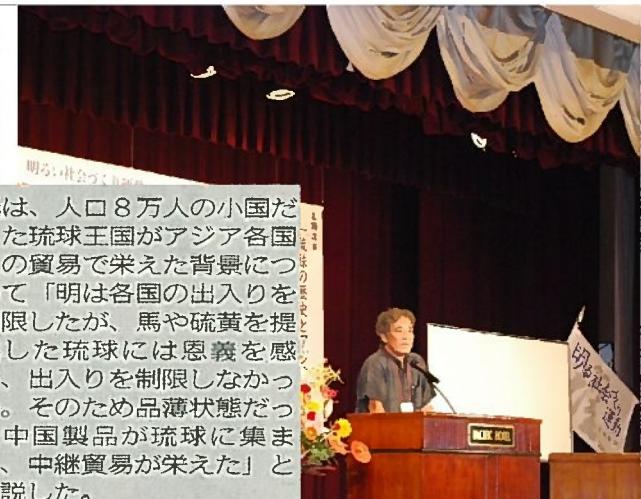
# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

高良氏基調講演  
琉球の歴史解説  
「明るい社会」全国集会  
明るい社会づくり運動の  
全国集会 in 沖縄（主催・  
NPO法人明るい社会づくり運動、同沖縄地区協議会）が2日、那覇市のパシ  
フィックホテル沖縄で開かれた。全国の関係者ら約200

人が参加し、琉球大名誉教  
授の高良倉吉氏＝写真、N  
P O法人ア  
クアプラネ  
ット理事長  
の金城浩二  
氏の講演な  
どを聞  
いた。  
「琉球の歴史とアジア」  
と題して基調講演した高良

氏は、人口8万人の小国だ  
った琉球王国がアジア各国  
との貿易で栄えた背景につ  
いて「明は各國の出入りを  
制限したが、馬や硫黄を提  
供した琉球には恩義を感  
じ、出入りを制限しなかつ  
た。そのため品薄状態だつ  
た中国製品が琉球に集ま  
り、中継貿易が栄えた」と  
解説した。



高良名誉教授は、琉球王国は東シナ海の小さな島だったが、早くからアジアに目を向けていた  
開かれた国であり、琉球が果たした役割は大きかったと講演した。

その後、日本国際ボランティアセンターの  
谷山博史代表が、「ラオスに井戸を贈る  
運動」の現状報告を行った。



引き続き NPO 法人アクアプラネット理事長の金城浩二さんが「サンゴの島が教えてくれたこと」をテーマに講演を行った。たくさんの苦労と試練の日々、そしてそれを支えた奥さまや家族との絆を淡々とした口調で語る金城さんの講演に、感動の拍手が鳴りやまなかった。



交流会の準備が整うまでの間、フロアでは沖縄民族衣装を身に着けての記念撮影が行われ、紅型の鮮やかな着物を身にまとい、笠をかぶり、参加者は沖縄気分を楽しんだ。



18時からは、NPO 法人明るい社会づくり運動沖縄地区協議会・上原清理事長の歓迎挨拶、城間幹子那覇市長の来賓挨拶の後、全国明社横ひさ恵監事による乾杯の音頭で交流会がスタート。花わらべ・島うた少女テン・那覇市大嶺青年団・創作太鼓集団のメンバーが琉舞・島唄・三線・エイサーなどのアトラクションを披露、参加者は沖縄の皆さんとの熱いおもてなしを堪能した。



最後に山口県の萩市明るい社会づくり推進協議会がステージに登場、萩での次回開催を宣言・アピールした後、全員で沖縄のリズムに合わせカチャーシーを踊り、沼田壽雄常務による閉会の挨拶でプログラムを終了した。



翌日は、オプション観光ツアーで首里城公園、玉陵、識名園、旧海軍司令部豪を見学した。



## 7. 災害支援事業

### (1) 東日本大震災被災者支援ボランティア活動

#### ① 「指画実演と体験」

7月28日(木)明るい社会づくり運動石巻地区推進協議会(斎藤正美会長)と協働して、石巻市のプレナホールにおいて、鳥取県米子市在住の濱田珠鳳さんの指画の実演と、体験講座を開催した。午前中は濱田さんの実演を見たあと、参加した小学校2年生から6年生までの子ども達が、ナス・パプリカ・スイカ・桃などの絵に取り組んだ。指で描くことに最初は戸惑った様子の子どもたちだったが、濱田さんに促されて絵具を手にすると、あとは一気に絵を描き上げ、終了後に濱田さんからポストカードをいただき、満足気な顔で帰っていった。



午後からは、市内の企業で就業中のベトナム人研修生の女性10名を含めた50名が参加。

実演で濱田さんの指先から生み出されていく牡丹の絵に、声もなく見入る姿が印象的であった。その後、全員がそれぞれに画材に取り組み、笑い声や歓声のあがる楽しい時間を過ごし、最後に濱田さんが作詞した、震災でなくなった子どもが親や友達に向けて語りかける内容の“ひまわりの道”を歌って、体験講座を終了した。



#### ② 仙台市落合復興公営住宅「夏祭り支援」

7月30日(土)、仙台明社と協働して仙台市落合復興住宅107世帯を対象に初めての夏祭りを開催。支援スタッフは、仙台明社19人・全国明社2人・社協宮城支部2人・支援ネット架け橋2人・救世軍災害対策室仙台分室2人・久喜加須大震災復興を支援する会2人・宮城野マジッククラブ3人・地域のボランティア2人の計30人。市内作並地区の西部広陵太鼓のオープニング演奏で幕あけ、続いてマジックショー、子供スイカ割り、盆踊り、ジャンケン大会等を催し、焼きそば(300食)、フランクフルト(200本)、枝豆(200食)、とうもろこし(200本)、じゃがバター(200食)を提供し、住民約350名と交流した。



### ③「北上川川開き祭り灯籠流し」

7月31日（日）、石巻市で行われた「北上川川開き・東日本大震災慰靈灯籠流し」に、久喜加須大震災復興を支援する会から17人、石巻明社5人と全国明社3人が参加、灯籠の組み立てを行った。



組み立て後、5時半から手渡しリレーで灯籠を運び、川に流された。



### ④「戸倉地区復興住宅交流会」

7月31日（日）、上尾明るい社会づくりの会と協働して宮城県南三陸町の戸倉地区復興住宅で、交流会を行った。

高台に建つこの団地は、2016年の5月に入居が始まったばかりで、周囲にはまだお店もなく、巡回してくる移動商店で貰えるのは食品くらい。雑貨等が簡単に手に入らないことから、今回は茶話会だけではなく、手作りの袋物や日用雑貨などのフリーマーケットを開催した。



## ⑤「旭ヶ丘団地子ども花火大会」

8月7日(日)、午後から夕涼み会が行われ、午後7時から子供たちによる花火大会を行った。



## ⑥「美田園第一応急仮設住宅　盆踊り大会」

8月16日(火)、名取市美田園仮設住宅で盆踊り大会を実施。この盆踊りは東日本大震災物故者慰靈を目的に自治会が震災以降毎年開催。仙台明社と協働して、盆踊りのお手伝い、食材等を提供した。



## ⑦「田子西復興公営住宅 夏祭り支援」

8月20日(土)、仙台市宮城野区田子西復興公営住宅で夏祭りを開催。昨年完成した復興住宅は、仙台市西部の蒲生地区の方を中心に110世帯が暮らし、この夏まつりは新しい住民同士の交流を目的に町内会が主催。震災支援の演劇グループ「ココロノキンセンアワー」や仙台明社、全国明社が共催団体として屋台ボランティア・食材などを提供した。



## ⑧「南三陸町ホタル再生プロジェクト」

10月6日(木)、南三陸町切曾木仮設団地(16世帯)周辺のホタル再生事業を、南三陸町・阿部西戸川自治会長を実行委員長としてプロジェクトを発足。当該地区は、震災前まではゲンジボタルの群生地であり、震災後、河川の被害によりホタルが激減した。被災者住民の要望のもと復活プロジェクトを立ち上げ、上尾明社・中山時次氏の協力のもと、再生場所の確認と餌となるカワニナを放流した。



## ⑨熊本地震災害「仮設住宅集会所への児童図書贈呈」

熊本県益城町社会福祉協議会、阿蘇郡西原村社会福祉協議会、南阿蘇村社会福祉協議会、御船町社会福祉協議会から仮設住宅集会所に集まる子供が楽しめるようにと児童書の要望があり、各社協からの希望書386冊を贈呈。(内・校成出版より110冊寄贈)

平成29年1月26日(木)、熊本県明るい社会づくり連絡協議会(清田春雄会長)と協働し、益城町社会福祉協議会・宮本茂会長へ107冊手渡した。



## (2)東日本大震災復興支援植樹活動

### ①「石巻花壇手入れボランティア」

6月4日(土)「震災で殺風景になった町に花を植えよう!」

と始まった石巻花壇ボランティア。500株のチューリップやポピーは今年も美しい花を咲かせ、通る人を楽しませた。

今回は震災支援団体オアシスと石巻明社が作っている2か所で久喜加須大震災復興を支援する会、全国明社と共に花壇の手入れを行った。



## ② 「石巻ラベンダー植栽」

10月30日(日)、石巻市北村の特別養護老人ホーム「万葉苑」にラベンダーの苗を1,000株植栽した。「老人ホームの方々と近隣の住民の憩いの場の公園を作りたい」との要請に応え、桜の植樹基金を運用して苗を提供した。当日は、久喜加須大震災復興を支援する会、石巻明社、全国明社と万葉苑の職員で植栽を行った。



2016年(平成28年)11月11日(金曜日)

東日本大震災からの復興を願い、明るい社会づくり運動「石巻市推進協議会」のメンバーら26人が10月30日、石巻市北村の特別養護老人ホーム「万葉苑」に隣接する丘で、ラベンダーの苗を1,000株植栽した。全国組織のNPO法人明るい社会づくり運動(東京)の協力を得て企画。参加者はバーツで土を掘り起こし、ラベンダーの苗を丁寧に植えた。協議会は昨年6月にも1,000株植栽しており、来春には合わせて200本のラベンダーが花を咲かせる見込み。施設側はラックス効果を期待できる憩いの場として、利用者や近隣住民に開放する予定だという。

協議会の相沢規雄事務局長(54)=石巻市=は「ラベンダーの花で日暮を明るくしたい。見頃になつたら多くの人に訪れてほしい」と話した。

みやぎ 街ひと話題

ラベンダー植栽  
石巻市民団体

## (3) 緊急援助活動

本年度は、要請がなかった。

## 平成28年度 活動計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動  
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費	600,000	
運営会費	1,920,000	
個人賛助会費	1,640,000	
2 受取寄附金	2,888,314	
受取寄附金		
3 受取助成金等	7,000,000	
受取補助金		
4 事業収益		
ネットワーク推進事業費1	235,000	
ネットワーク推進事業費2	221,000	
調査・研究事業費	65,000	
集会事業費1	597,700	
5 その他収益		
受取利息	22,508	
経常収益計		15,189,522
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会場費	4,780,863	
会議費	258,492	
旅費交通費	8,211,851	
現地活動費	652,628	
諸謝金	520,932	
印刷製本費	2,210,664	
消耗品費	792,879	
図書資料費	20,122	
委託費	579,089	
参加費	12,000	
通信運搬費	703,710	
雑費	7,800	
その他経費計	18,751,030	
事業費計		18,751,030
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	99,029	
人件費計	99,029	
(2) その他経費		
会議費	140,874	
旅費交通費	824,769	
通信運搬費	490,669	
図書会費	50,000	
消耗品費	186,060	
修繕費	339,675	
印刷製本費	9,072	
光热水料費	475,436	
リース料	968,664	
災害保険料	18,030	
管理諸費	560,844	
法人実務費	0	

租税公課		0	
雑費		528	
その他経費計		4, 064, 621	
管理費計			
経常費用計		4, 163, 650	
当期経常増減額			22, 914, 680
III 経常外収益			
		0	
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増減額		-7, 725, 158	
法人税、住民税及び事業税		0	
当期正味財産増減額		-7, 725, 158	
前期繰越正味財産額		105, 996, 830	
次期繰越正味財産額		98, 271, 672	

## 平成28年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

## 1. 重要な会計方針

- 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日～2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当なし
  - (2) 固定資産の減価償却の方法  
該当なし
  - (3) 引当金の計上基準
    - ・退職給付引当金  
該当なし
  - (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
該当なし
  - (6) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

## 2. 事業別損益の状況

科目	ネットワーク推進事業1	ネットワーク推進事業2	ネットワーク推進事業3	ネットワーク推進事業4	広報事業1	広報事業2	広報事業3	調査・研究事業	地域協働事業	明社レンジャー事業	集会事業1	災害支援事業1	災害支援事業2	事業部門合計	管理部門	合計	
I 経常収益																	
1. 受取会費	500,000	400,000	500,000	50,000	700,000	50,000	20,000	400,000	200,000	30,000	600,000	400,000		3,850,000	310,000	4,160,000	
2. 受取寄附金												40,000	30,000	2,511,864	2,807,814	80,500	2,888,314
3. 受取助成金等	1,400,000		900,000		1,000,000						1,800,000	100,000	100,000	5,700,000	1,300,000	7,000,000	
4. 事業収益	235,000		221,000								597,700			1,118,700	0	1,118,700	
5. その他収益															22,508	22,508	
経常収益計	2,135,000	621,000	1,400,000	50,000	1,899,650	50,000	46,300	965,000	200,000	70,000	3,027,700	3,011,864	0	13,476,514	1,713,008	15,189,522	
II 経常費用																	
(1) 人件費														0	0	0	
給料手当														99,029	99,029	99,029	
人件費計														0	99,029	99,029	
(2) その他経費																	
会場費	1,683,548	1,121,128	0	0	55,854	0	0	178,284	0	1,797,903	0	0	4,780,863		4,780,863		
会議費	20,956	4,900	0	4,200	55,854	0	0	3,750	62,665	2,147	59,940	43,000	1,080	258,492	140,874	399,366	
旅費交通費	786,639	656,600	1,609,810	57,500	733,750	85,350	0	1,085,496	203,020	93,199	1,218,890	1,589,537	92,060	8,211,851	824,769	9,036,620	
現地活動費												404,228	248,400	652,628		652,628	
諸謝金	89,096	0	0	0	220,233	0	0	0	0	0	211,603	0	0	520,932		520,932	
印刷製本費	26,817	0	0	0	1,769,390	0	269,406		127,440	0	17,611	0	0	2,210,664	9,072	2,219,736	
消耗品費	14,533	0	0	0	335,918	97,851	0	0	5,280	26,262	1,782	311,253	0	792,879	186,060	978,939	
図書資料費	0	0	0	0	14,722	0	0	5,400	0	0	0	0	0	20,122		20,122	
委託費								467,169	111,920	12,000				579,089		579,089	
参加費									10,296	29,999	44,077	17,558	0	703,710	490,669	1,194,379	
通信運搬費	8,989	3,295	2,535	3,025	567,095	9,936	5,145	1,760						0	50,000	50,000	
図書会費														0	339,675	339,675	
修繕費														0	475,436	475,436	
光熱水料費														0	968,664	968,664	
リース料														0	18,030	18,030	
災害保険料														0	560,844	560,844	
管理諸費														0		0	
法人実務費														0		0	
租税公課														0		0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,600	0	4,200	0	7,800	528	8,328	
その他経費計	2,630,578	1,785,923	1,612,345	64,725	3,696,962	660,306	274,551	1,220,326	586,985	155,207	3,351,806	2,369,776	341,540	18,751,030	4,064,621	22,815,651	
経常費用計	2,630,578	1,785,923	1,612,345	64,725	3,696,962	660,306	274,551	1,220,326	586,985	155,207	3,351,806	2,369,776	341,540	18,751,030	4,163,650	22,914,680	
当期経常増減額	-495,578	-1,164,923	-212,345	-14,725	-1,797,312	-610,306	-228,251	-255,326	-386,985	-85,207	-324,106	642,088	-341,540	-5,274,516	-2,450,642	-7,725,158	

## 3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

該当なし

(単位：円)

内容	金額	算定方法		

## 4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は98,271,672円ですが、そのうち5,596,220円は、下記のように使途が特定されています。  
したがって使途が制約されていない正味財産は92,675,452円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
災害支援事業1 (子ども支援寄付金)	2,890,826	0	109,114	2,781,712	来期の活動資金として使用予定
災害支援事業1 (熊本地震支援寄付金)	0	2,511,864	381,908	2,129,956	来期の活動資金として使用予定
災害支援事業2 (植樹活動)	1,026,092	0	341,540	684,552	来期の活動資金として使用予定
合計	3,916,918			5,596,220	

## 5. 固定資産の増減内訳

該当なし

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具						
什器備品						
無形固定資産						
投資その他の資産						
敷金						
合計						

## 6. 借入金の増減内訳

該当なし

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

## 7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

該当なし

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
貸借対照表計		

## 8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

該当なし

- 他の事業に係る資産の状況

該当なし

## 平成28年度 貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	97,799,708
前払費用	484,210
流 動 資 產 合 計	98,283,918
2 固定資産	
(1)有形固定資産	
車両運搬具	0
什器備品	0
有形固定資産合計	0
(2)無形固定資産	
電話加入権	0
無形固定資産合計	0
(3)投資その他の資産	
投資その他の資産合計	0
固 定 資 產 合 計	0
資 産 合 計	98,283,918
II 負債の部	
1 流動負債	
前受金	10,000
預り金	2,246
流 動 負 債 合 計	12,246
2 固定負債	
長期借入金	0
退職給与引当金	0
固 定 負 債 合 計	0
負 債 合 計	12,246
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	105,996,830
当期正味財産増減額	-7,725,158
正味財産合計	98,271,672
負債及び正味財産合計	98,283,918

## 平成28年度 財産目録

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	39,528	
みずほ銀行普通預金	47,719,239	
みずほ銀行定期預金	50,037,579	
郵便貯金	3,362	
前払費用		
広報事業前払費用	440,910	
管理費前払費用	43,300	
流 動 資 産 合 計	98,283,918	
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	0	
什器備品	0	
有形固定資産合計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産合計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資有価証券	0	
投資その他の資産合計	0	
固 定 資 産 合 計	0	
資 産 合 計	98,283,918	
II 負債の部		
1 流動負債		
(1) 前受金		
平成29年度団体賛助会費1口	10,000	
	10,000	
(2) 預り金		
給与源泉所得税	0	
報酬源泉所得税	2,246	
報酬・料金源泉所得税	0	
	2,246	
流 动 负 債 合 計	12,246	
2 固定負債		
長期借入金		
銀行借入金	0	
固 定 负 債 合 計	0	
負 債 合 計	12,246	
正 味 財 産	98,271,672	

# 監 査 報 告 書

平成 29 年 5 月 13 日

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動  
理 事 長 砂 川 敏 文 殿

## 1. 監査手続の概要

監事は、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」に関する定款第 15 条により、同法人の第 16 期（即ち自平成 28 年 4 月 1 日至平成 29 年 3 月 31 日）の平成 28 年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」の監査を行いました。

この監査に当っては、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、監査手続を実施しました。

また、同法人の個人情報保護規程（平成 19 年 4 月 1 日施行）第 27 条により、監査責任者として個人情報管理の監査を実施しました。

## 2. 監査の結果

平成 28 年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」は、法令及び定款に従い、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」の収入、支出並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。また、個人情報の管理が個人情報保護方針および個人情報保護規程に従い、適正に実施されていることを認めます。

## 3. 「平成 28 年度事業報告書」の内容に相違ないことを認めます。

監 事 横 ひさ恵



監 事 大石 雅也



## 平成 29 年度事業計画

### I 事業実施の方針

今年度は、提唱 50 周年にむけて企画委員会を設置すると共に、「全国都道府県会議」において、都道府県・地区明社の皆さまと本運動の方向性を共有し、提唱 50 周年への意識の高揚を図る。発生から 6 年が経過した東日本大震災の復興支援については、引き続き被災地のニーズを収集し、支援活動を実施する。また、熊本地震災害の支援については、九州全地区の地区明社と協働し対応する。国際支援活動については、「ラオスに井戸を贈る運動」や「アフリカへ毛布をおくる運動」等への支援を、引き続き都道府県・地区明社と連携して実施するものとする。

### II 事業の実施に関する事項

#### 1. ネットワーク推進事業

##### (1) 全国都道府県会議

目的：明社運動の方向性や事業のあり方を共有し、全国都道府県の方々と意見・情報交換を行い、より一層の繋がりを図ることを目的に開催する。

会場：全国町村会館（東京都千代田区）

日時：平成 29 年 10 月 21 日（土）13 時から 10 月 22 日（日）12 時まで

対象：都道府県組織から推薦された方で、本人が全国明社の運営会員または賛助会員であること。（県組織のない地域の地区明社の参加も可）

参加人数：各県 1～3 人（複数参加の県は初参加の推薦を依頼する）

参加費：5,000 円

交通費

一部助成：助成申請者には、片道の交通費を助成する。

但し、助成の対象は、片道交通費が 3,000 円以上とする。

##### (2) 明社ミーティング

目的：時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報交換並びに意見交換を通して、これから運動を確認する。今年度も「これからの明るい社会づくり運動・3 つの方針」の浸透に努める。

会場：5 会場（招聘地）

日程：1 泊 2 日または日帰り

対象：複数県および県単位とする。複数地区明社開催も可。

参加人数：1 会場 45 人

参加費：1,000 円

##### (3) 講師派遣と相談サービス

目的：本運動の推進を図るために、都道府県・地区明社および各種団体に対し、講師を派遣する。また、運動の啓発や事業実施の相談等に応える。

##### (4) 諸団体との連携

目的：各種 NPO／NGO 団体が実施する事業等に参加し、本運動との連携を図る。

計画内容：①日本国際ボランティアセンターと協働し「ラオスに井戸を贈る運動」への協力を呼び掛ける。

②アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会への協力・支援を行う。

## 2. 広報事業

### (1) 機関誌『はーとふる』の発行

目的：本運動の推進に役立つ情報を提供し、都道府県ならびに地区明社への支援に寄与する。

計画内容：①発行時期：春号(4月)、夏号(7月)、秋号(10月)、冬号(1月)

②発行部数：9,000部(装丁：A4版 16頁～20頁、カラー刷り)

③年間企画は、編集委員の意見をもとに検討し紙面の充実を図る。

### (2) WEB等のIT活用

目的：インターネットを用いて、本運動の団体紹介や事業情報を迅速かつ広範に公開する。あわせて、都道府県ならびに地区明社の団体紹介や活動報告を掲載し、活動事例の紹介を行う。

計画内容：①ホームページで都道府県・地区明社の団体紹介、イベント情報等を適宜更新する。

②ホームページで全国明社の各種事業案内と報告を行う。

③メールマガジンを適宜発行し、情報の更新案内をする。

④フェイスブックを使い、即時の情報発信を行う。

### (3) 広報ツールの開発

目的：本運動を広く地域社会に伝えていくためのツールを開発する。

また、提唱50周年に向けて、活動紹介映像作成のための取材を行う。

## 3. 調査・研究事業

目的：社会貢献に顕著な実績のある諸団体の活動を学び、本運動との協働などについて調査研究を行う。また、本運動の人材育成の在り方を検討する。

計画内容：①人材育成プログラムの開発

②地区明社の情報収集

③諸団体主催の事業等への参加

④書籍等の購入

### (1) 人材育成プログラムの開発

理事会等で本運動の人材育成を検討し、必要に応じて外部調査を行う。

### (2) 地区明社の情報収集

「全国組織一覧」や収集したデータをもとに地区明社の状況を確認し、本法人に望むサービス等の調査を行い、団体賛助会員の拡大に努める。また、地区明社の情報(発行物等)を収集し、事務局で閲覧できるよう管理すると共に、各県にも情報を提供する。

### (3) 各種団体主催のセミナー等への参加

### (4) 書籍による情報収集および各種団体の刊行物購読による情報収集

## 4. 地域協働事業

目的：地域活性化への支援を目的として、全国明社と都道府県・地区明社が協働して事業を行い、都道府県・地区明社が地元とのつながりを持つ契機とする。

計画内容：①各種団体・行政など、地域と共に活動している地区明社の事業を支援する。

- ②地区明社と協働して青少年(キッズ、ジュニア、青年)育成を目指した活動を開発する。
- ③昨年に引き続き「全国清掃キャンペーン・明社人 みんなでゴミ拾い2017」を実施し、機関誌で集計結果を発表し、都道府県・地区明社の連帯と一体感を深める。

## 5. 明社レンジャー事業

目的：地区明社や市民団体等の要請に応え、「耀！連隊 明社レンジャー」のショーを行い、次代を担う子どもたちやその保護者を中心に、平和の大切さや市民によるまちづくりを啓発する。

計画内容：

- ①要請に応え、ショーやイベントに出演し広報援助を行う。
- ②機関誌やホームページに衣装の貸出の案内を掲載し、本運動のPRに役立ててもらう。
- ③被災地の子どもたちとの交流活動を実施する。

## 6. 集会事業

### (1) 全国集会

目的：本年は、2018年に行われる「全国集会 in 萩」の開催に向けて、準備を行う。

計画内容：実行委員会を設置し、実施内容の検討を行う。

### (2) 提唱 50 周年特別記念事業

目的：2019年の提唱 50 周年に向けての準備を行う。

計画内容：「提唱 50 周年企画委員会」を設置し検討する。

## 7. 災害支援事業

### (1) 東日本大震災被災者支援ボランティア活動

目的：東日本大震災およびその他の災害において、当該地区明社等と協働し、復興支援に取り組む。

計画内容：

- ①仮設住宅および復興住宅コミュニティづくりを、自治会等と協力しを行う。
- ②独居および高齢者の参加を意識したイベントを実施する。
- ③子ども支援基金をもとに、子どもたちへの支援を行う。

### (2) 東日本大震災復興支援植樹活動

目的：全国各地から寄せられた植樹基金をもとに、支援要請のある復興地に桜等の植樹を行う。また、仮設住宅等に「花植え」を行う。

計画内容：被災地の要請に応じて、花植え・植樹を行う。

### (3) 緊急援助活動

目的：緊急援助事業の協定団体である AMDA（特定非営利活動法人アムダ）や諸団体の要請に応じて、必要物資の調達・運搬等の後方支援を行う。

### III 運営に関する事項

#### (1)第17回通常総会の開催

とき：平成29年6月17日(土)13時30分～15時30分

ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）

(1)平成28年度事業報告・決算の承認

(2)平成29年度事業計画・予算の報告

(3)その他

#### (2)理事会(4回)の開催

##### ①第1回

とき：平成29年5月13日(土)13時～16時30分

ところ：法人事務所（東京都中野区）

(1)平成28年度事業報告(案)・決算(案)の承認

(2)平成29年度事業計画(案)・予算(案)の決定

(3)その他

##### ②第2回

とき：平成29年8月26日(土)13時～16時30分

ところ：法人事務所（東京都中野区）

(1)法人の検討課題について

(2)その他

##### ③第3回

とき：平成29年11月25日(土)13時30分～26日(日)15時

ところ：法人事務所（東京都中野区）

(1)今年度の事業報告

(2)次年度事業計画について

(3)法人の検討課題について

##### ④第4回

とき：平成30年2月17日(土)13時～16時30分

ところ：法人事務所（東京都中野区）

(1)決算見込みの審議

(2)次年度事業計画・予算の審議

(3)その他

#### (3)その他

(1)全国都道府県会議「企画委員会」を設置する

(2)「提唱50周年記念企画委員会」を設置する

(3)定款改定作業チームを設置する

## 平成29年度(2017年度) 収支予算書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：円)

	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	予算差異
<b>I 経常収入の部</b>			
1・会費収入	5,550,000	4,400,000	-1,150,000
①運営会費	1,000,000	650,000	
②個人賛助会費	2,550,000	1,950,000	
③団体賛助会費	2,000,000	1,800,000	
2. 事業収入	2,236,000	575,000	-1,661,000
①全国都道府県会議参加費	325,000	350,000	
②明社ミーティング参加費	225,000	225,000	
③志民カレッジ参加費	150,000		
④全国集会参加費	1,536,000	0	
3. 補助金収入	7,000,000	7,000,000	0
①協力団体	7,000,000	7,000,000	
②その他	0	0	
4. 寄付金収入(一般・指定)	200,000	200,000	0
5. 雑収入	8,000	500	-7,500
6. 前期繰越金からの繰入	13,067,174	10,050,832	-3,016,342
7. 基金からの繰入	0	300,000	300,000
8. 子ども支援基金からの繰入	2,890,826	2,781,712	-109,114
9. 熊本支援基金からの繰入	0	2,129,956	2,129,956
10. 桜苗木基金からの繰入	1,026,092	684,552	-341,540
経常収入合計（A）	31,978,092	28,122,552	-3,855,540

II 経常支出の部			
1・事業費			
ネットワーク推進事業費1 (全国代表者会議)	3,506,000	4,000,000	494,000
ネットワーク推進事業費2 (明社ミーティング)	1,819,000	1,770,000	-49,000
ネットワーク推進事業費3 (講師派遣と相談サービス)	1,750,000	1,750,000	0
ネットワーク推進事業費4 (諸団体との連携)	200,000	200,000	0
広報事業費1 (機関誌)	3,832,000	3,508,000	-324,000
広報事業費2 (WEB)	891,000	740,000	-151,000
広報事業費3 (広報ツール)	500,000	350,000	-150,000
調査・研究事業費	2,260,000	740,000	-1,520,000
地域協働事業費	910,000	910,000	0
明社レジッヤー事業費	450,000	300,000	-150,000
集会事業費1 (全国集会)	4,350,000	610,000	-3,740,000
集会事業費2 (提唱50周年特別記念事業)	0	300,000	300,000
災害支援事業費1 (ボランティア活動)	5,434,000	7,410,000	1,976,000
災害支援事業費2 (植樹活動)	1,026,092	684,552	-341,540
災害支援事業費3 (緊急援助活動)	0	0	0
事業人件費	0	0	0
事業費合計	26,928,092	23,272,552	-3,655,540
2・管理費			
管理費	5,050,000	4,850,000	-200,000
管理費合計	5,050,000	4,850,000	-200,000
経常支出合計（B）	31,978,092	28,122,552	-3,855,540
経常収支差額（A）-（B）	0	0	0
支出合計	31,978,092	28,122,552	-3,855,540

**平成29年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(科目詳細)**

		金額 (単位:円)			計算式 等
I 経常収入の部					
1 会費収入		650,000			@10,000 × 65
・連営会費		1,950,000			@3,000 × 650
・個人賛助会費		1,800,000			@10,000 × 180
2 事業収入					
・ネットワーク推進事業1収入		350,000			
・ネットワーク推進事業2収入		225,000			
・集会事業収入		0			
3 補助金収入					協力団体より
・民間助成金収入		7,000,000			
・その他の助成金収入		0			
4 寄付金収入					事業への指定寄付を含む
・寄付金収入		200,000			
5 雑収入					預金利息
・受取利息		500			
6 繰越金より繰入					
・繰越金より		10,050,832			
・基金より		300,000			
・子ども支援寄付金より		2,781,712			
・熊本支援寄付金より		2,129,956			
・植樹寄付金より		684,552			
経常収入合計 (A)			15,947,052		
				28,122,552	

	金額 (単位:円)			計算式 等
II 経常支出の部				
1 事業費				
・ネットワーク推進事業1(全国都道府県会議)				
会場費	2,083,000			会場使用料・懇親会・会場備品等
旅費交通費	1,695,000			参加者補助・会議交通費他
会議費	88,500			開催通知等発送費
通信運搬費	15,000			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	18,500			資料印刷
諸謝金	100,000			
雑費	0			
		4,000,000		
・ネットワーク推進事業2(明社ミーティング)				
会場費	1,087,500			会場使用料・懇親会等 5会場
旅費交通費	560,000			当日 5会場
会議費	0			
通信運搬費	6,500			資料発送
消耗品費	6,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	10,000			資料作成
諸謝金	100,000			講師料 5会場
雑費	0			
		1,770,000		
・ネットワーク推進事業3(講師派遣と相談サービス)				
会場費	0			
旅費交通費	1,704,000			2人 × 12回
会議費	20,000			
通信運搬費	10,000			資料発送
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	16,000			資料作成
諸謝金	0			
雑費	0			
		1,750,000		
・ネットワーク推進事業4(諸団体との連携)				
会場費	0			
旅費交通費	100,000			
会議費	55,000			会議参加費
通信運搬費	20,000			礼状発送等
消耗品費	5,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	20,000			
諸謝金	0			
雑費	0			
		200,000		
・広報事業1(機関誌)				
機関誌制作費	1,840,000			機関誌デザイン・印刷
旅費交通費	700,000			取材交通費
会議費	38,000			編集委員会等
通信運搬費	600,000			会員・贈呈者等発送
消耗品費	20,000			発送用封筒
図書資料費	70,000			資料購入等
諸謝金	240,000			原稿料等
雑費	0			
		3,508,000		
・広報事業2(WEB)				
委託費	548,800			HP委託管理・新規コンテンツ制作
旅費交通費	150,000			取材交通費
会議費	20,000			取材打合せ等
通信運搬費	7,800			インターネット
消耗品費	10,000			メディア等消耗品
図書資料費	3,400			
諸謝金	0			
雑費	0			
		740,000		
・広報事業3(広報ツール)				
会議費	0			
旅費交通費	330,000			資料映像取材

通信運搬費	20,000			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	0			
		350,000		
・調査・研究事業				
会場費	0			
旅費交通費	670,000			志民カレッジ・セミナー参加
会議費	0			
通信運搬費	20,000			
消耗品費	5,000			
図書資料費	25,000			地区明社情報収集用 情報収集用書籍等
印刷製本費	0			
委託費	0			
参加費	20,000			カレッジプログラム セミナー参加費等
諸謝金	0			
雑費	0			
		740,000		
・地域協働事業				
会場費	500,000			
旅費交通費	330,000			
会議費	15,000			
通信運搬費	5,000			
消耗品費	10,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	50,000			チラシ等作製
諸謝金	0			
雑費	0			
		910,000		
・明社レンジャー事業				
会場費	0			
旅費交通費	200,000			
会議費	15,000			
通信運搬費	40,000			衣装発送費等
消耗品費	20,000			
図書資料費	20,000			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	5,000			ボランティア保険
		300,000		
・集会事業1(全国集会)				
会場費	0			
旅費交通費	560,000			
会議費	50,000			
通信運搬費	0			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	0			
		610,000		
・集会事業2(提唱50周年特別記念事業)				
会場費	50,000			
旅費交通費	200,000			
会議費	50,000			
通信運搬費	0			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	0			
		300,000		
・災害支援事業1(ボランティア活動)				
現地活動費	5,741,668			熊本支援・子ども支援・プログラム運営・機材等
旅費交通費	1,000,000			ボランティア・スタッフ交通費
会議費	50,000			ボランティア・スタッフ食事代
通信運搬費	12,332			
消耗品費	600,000			食材等
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	6,000			ボランティア保険
		7,410,000		

-災害支援事業2(植樹活動)				
現地活動費	684,552			
旅費交通費	0			
会議費	0			
通信運搬費	0			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	0	684,552		
-災害支援事業3(緊急援助活動)				
現地活動費	0			
旅費交通費	0			
会議費	0			
通信運搬費	0			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	0	0		
-事業人件費				
給料手当	0	0	23,272,552	
2 管理費				
-主たる事務所の管理費				
給料手当	0			
福利厚生費	80,000			
会議費	200,000			総会・理事会会場費他
広報費	0			
旅費交通費	1,100,000			理事会・総会 日帰り交通費
通信運搬費	550,000			電話・宅急便・メール便・振込手数料・払込手数料等
図書会費	50,000			
消耗什器備品費	0			
消耗品費	250,000			事務用品・ゴミ処理券等
修繕費	420,000			コピー機バフォーマンス料他
印刷製本費	20,000			
光熱水料費	462,000			電気・水道
リース料	1,023,000			コピー機、電話機、会計ソフト他
災害保険料	18,030			家財保険・動産保険加入
管理諸費	667,400			会計顧問料他
法人実務費	4,000			
租税公課	0			
雑費	5,570	4,850,000	4,850,000	残高証明手数料等
経常支出合計 (B)				
経常収支差額(A)-(B)				0



